

50201一般港湾運送業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	13~14	岸壁に横付けされたボックスバージ内にある、木箱2ケースの水切り作業の準備を行うため、作業員3名がボックスバージ内に下りた。玉掛け作業をしようと木箱（L917×W367×H355）の天井に上るため、梯子を木箱にかけ、先に作業員1名が上り、続く2人目（被災者）が約250cm上ったところで梯子が傾き、バランスを崩し、転落して負傷した（左側頭部出血、左手首骨折）。なお、作業員はヘルメットを着用していた。	22	1	371	10~ 29
2	2017	12	8~9	屋外の荷捌き場にて、重機（マグネット式バックホー）を使用し、トレーラーに貨物を積む作業を行っていたところ、重機の誤作動により、重機のアームが下がり、その反動で重機が傾き、元の状態に戻った際に衝撃があり、中にいた被災者が怪我をした。	48	6	142	30~ 49
3	2017	12	14~15	20フィートコンテナに1個あたり20~25kgの貨物を、先ずパレットに載せた状態で他の作業員がフォークリフトでコンテナ内部にいる該当者の手前まで運び、そこから手作業で1個ずつコンテナ目いっぱい計640個詰め込む作業を行っており、その際パレット上に載っていた貨物が不安定な形状だった為一部崩れ、右ふくらはぎに落下し、重さと衝撃で体勢が崩れ、右膝を負傷した。	42	4	611	10~ 29
				被災者は、南側で作業の進捗確認を行っていた。その際、別の作業で立ち会いのため現場を訪れた荷主の来所を営業担当				

4	2017	12	9~10	者に連絡するためPHSを操作しようとしていた。その時、近くでVAN詰め作業中の協力会社作業員が運転する4tフォークリフトがコンテナ内より後進しながら旋回した際に、左後輪が被災者の左足に乗り上げ負傷した。	61	7	222	100~ 299
5	2017	12	18~19	マイナス6m岸壁に接岸した艙内で、4m杉丸太の積付作業中に、丸太に雪が少し残っていて、その上で足をすべらせ3列目と4列目に段差が約1mあり、4列目に転落し、その際に丸太に右肩と右脇腹を強打した。	69	1	522	10~ 29
6	2017	9	16~ 17	当該作業者は、鉄板（長さ12,500mm×幅2,700m×厚さ15mm、4,264kgs）を本船に積み込む作業で船内の手元作業に従事していた。67枚目を積み込む際に、クレーンに吊るされた鉄板を降ろし場所の上で一旦止め、合図者が積み付け確認の為、「よいか?」と問い掛けたところ、「よい」と返答した為、合図者が鉄板をおろした所、当該作業者はバランスを崩し、左手を鉄板と鉄板の間に入れて、左手を挟んだ。	25	7	521	30~ 49
7	2017	9	7~8	バースで棒鋼のトラッククレーンで荷役作業を行っていた。横持トレーラー荷台上でトラッククレーン補助作業中、船内から水切りされた棒鋼の位置を荷台の外側から中心部へ再移動しようと荷台上で体を外側へ移動させた際、左足を荷台から踏み外しコンクリート舗装面へ落下した。	53	1	212	50~ 99
8	2017	8	16~ 17	クレーン作業終了後、クレーンを移動しアウトリガーを張り、左側のアウトリガーを確認するため運転席から降りるも、地面まで降りずに踊り場から身を乗り出して覗き込んでしまい、バランスを崩して約1.45m下の地面に飛び降りる形となった。その際、アウトリガーの敷板とコンクリートの地面の間に右足踵から着地し受傷した。	56	3	212	100~ 299
9	2017	6	8~9	荷主先倉庫にて、当社の車上で積み荷のパイプをワイヤー交換のため吊荷（パイプ）を卸した時、パイプがばらけてしま	32	7	611	10~

				い、左中指を挟み負傷した。				29
10	2017	6	16~ 17	センターにて、作業を終えEV横階段を下りようと、一步目の左足を階段に着床し、二歩目の右足を階段に着床させようとしたところ、目測を誤り階段を踏み外し、転落した。胸と右ひざを強打したが、その日はそのまま帰宅するも痛みがあり、右膝が腫れてきた。	63	1	413	10~ 29
11	2017	4	11~ 12	資材センター内ホーム前でテスト運転していた際、冷凍コンテナの電源を抜くためトラックのあおりに足を掛けて荷台上がり、手すりを掴もうとした時に掴みきれず倒れ、体の右側面から地面に落ち、右肘腰顔面を強打して5分程度意識が薄れた。右肘に痛みがあり、その後、結果右肘頭の骨折が判明した。	46	1	221	100~ 299
12	2017	4	10~ 11	コンテナシャーシのゴム（エアチャック）を交換するため、マイナスドライバーを使用して作業していた。ゴムが外れにくいため体重をかけた状態で上から下へ押し込んでいた所、ドライバーの先端が滑って外れたことによりバランスを崩し、右手首・左肘・左膝をシャーシに打ちつけた。	36	3	364	100~ 299
13	2017	4	10~ 11	コンテナ内の異常有無確認のため、オンシャーシのコンテナに足場確保をせずに直接コンテナ後方からよじ登ろうとしたため、体勢を崩して後方に転倒し、手をついた。原因は、昇降台の使用などの足場確保をしなかったこと、降雨の影響で足元が滑りやすかったことにある。	47	1	221	1~9
14	2017	3	15~16	当該来船より揚げ荷であるC型銅の揚げ荷作業を行っていた際、デッキマン（作業主任者）が巻き上げる為に地切りを行ったところ、移動式クレーンのジグが起こし気味だった為、船内の壁側で作業をしていた作業員2名の方へ向かい、退避したが1名が船内の壁とC型銅の間に右足を挟み負傷し	65	6	521	100~ 299

				た。				
15	2017	3	10~11	倉庫内で鋼材の仕分け作業中、万棒の上に足をかけて作業しようとした時、万棒が滑ってしまい、そのままワイヤーロープに足を取られて負傷した。	32	19	921	10~ 29
16	2017	3	13~14	当社作業場にて、船からの揚荷を船内作業中に、オープンコンテナ（2400×600×1500）にフックを掛けて、荷物（角パイプ）を足場にして下りようとして地上に足をつけた時、下に敷き詰めてあった平鋼で足を滑らせて転倒し、右手で支えようとして右手を強打し捻挫した。	37	2	521	10~ 29
17	2017	3	15~16	納入先にて、トレーラー荷台上から鉄板の束（約1,450×1,450×180mm重量約1.6t）を西側の卸場へ荷卸し作業中、荷台上の待機場所にいた被災者は、ホイストクレーンが地切り後に西側方向に動き出したことを確認した上で、吊り荷の東側に移動した。しかし、クレーンオペ担当者の誤操作によりクレーンを東側に逆走させたために、吊り荷とトレーラーのあおりに挟まれ被災した。	36	7	211	100~ 299
18	2017	3	17~18	倉庫において、海上コンテナへの荷出貨物の積み込み作業を行っていた際、貨物を固定する為の角材（60cm×10cm）がパレット上（床面から約80cm）から落下し、作業者の左足に当たり負傷した。	40	4	522	1~9
19	2016	12	0~1	倉庫内にて、昼休み中にトイレに向かう為、トラクター車から降りようとしたところ、ステップに足がかからず、そのまま落下した。その際、左足より着地したことで左足首を骨折した。	42	1	221	50~ 99
20	2016	11	15~ 16	ストラドルキャリアのホイストワイヤーロープ交換後、ワイヤーロープ張り調整のため、スプレッダー上にて左後側のシープボルトを締める作業時に、低姿勢ではなく立った状態で横方向に力を掛けたこと、また力の加減を誤ったため体勢	30	1	226	100~ 299

				を崩し落下した。				
21	2016	10	16～ 17	岸壁に接岸中の荷役船で船積み作業中、固縛作業員に作業指示を出しながらセンターランプから船内に向かっていた。作業開始前にセンターランプの格納ピンリセス穴に左足が入り転倒した時に、とっさに右手をついて負傷した。	51	2	417	50～ 99
22	2016	9	7～8	埠頭でコンテナ荷揚げ作業時に、コンテナから転落し、被災した。	30	1	611	30～ 49
23	2016	8	16～ 17	トラックより搬入されたスクラップの船積み荷役中、被災者は8時半より16時半までの間、トラック運転手への合図及び船積み時に散乱したスクラップ屑の清掃作業に従事していたところ、熱中症を発症した。	27	11	715	1～9
24	2016	7	18～ 19	貨物船のコンテナ吊り、玉掛け荷役作業を2人で行っていた。コンテナ上部に立ち、クレーンから吊り下げられ、クレーンの旋回により少し振られた状態のワイヤーロープ4本の内2本を引き取った際、残りのワイヤーロープをもう1人の作業員が引き取っていなかった為、振られたワイヤーロープの先端に取り付けられたフックが右手に接触し、右手中指を痛めた。	52	6	372	50～ 99
25	2016	7	10～ 11	4mパイプの集荷積込中、地上にてロープによる養生をしていたところ、縛り目が外れ、勢い余って後方に転倒した際、右手を地面に突き負傷した。	32	19	372	10～ 29
26	2016	6	14～ 15	荷揚み場で、形鋼の仕分け中に、角の輪木を踏み、その時に足首をひねった。	50	2	521	10～ 29
27	2016	5	18～ 19	被災者はインゴットデバン作業終了後に他の者が使用したリフトを、デバン作業エリアから倉庫内に廻送した。次に自身が使用したリフトを廻送しようと、徒歩にて作業エリアをリフト駐車場所に向けて移動した。その際、同僚もデバン作業が終了したので、作業後の空コンテナを片付けようとスプ	34	7	222	10～ 29

				レッダーリフトでデバン作業エリアに向かった。その途中で、被災者にスプレッダーリフトが接触した。				
28	2016	4	9～ 10	停泊中の船へ書類を受け取りに行き、船から岸壁に下りる際、左足に重心をかけた状態で着地したため負傷した。	43	3	417	100～ 299
29	2016	4	15～ 16	ペイローダー運転係の交代のため、港のクレーン置場にペイローダー車を止めて降車する時に、逆方向を向き右手に傘を持ち、手すりをつかみ降りた所、雨が降っていてステップが濡れていたため、1m位の所から落下し転倒した。	51	1	225	50～ 99
30	2016	4	15～ 16	スクラップを船の積み込み作業中、ショベルローダの約10m後方で、散らばっていたスクラップを回収していた。ショベルローダの運転者がバックしようとして後方確認したが、死角のため被災者が見えず、被災者も作業に集中していたため、ショベルローダに気づくのが遅れた。ショベルローダがそのままバックを続けたため、被災者の両足、左手をタイヤで踏みつけた。	63	6	141	10～ 29
31	2016	1	19～ 20	倉庫（1階）のシャッターの鍵がなかった為、2階の窓から積んであるパレットの上に降り、下に降りようとした際、バランスを崩し1m70cm下の土間に落ち、頭を打ちつけた。	43	1	379	10～ 29
32	2015	12	13～ 14	タンクコンテナの上部を清掃するためにウエス・シンナーを左手で持って梯子を上るが、右手を滑らせて落下。	64	1	371	30～ 49
33	2015	12	10～ 11	最大荷重2tのフォークリフトに乗車し、廃材の積み込み作業に従事していたが、最終のパレットを手伝おうと一旦下車、脱着式コンテナの昇降設備を使用して内部に進入した。その後、積み込み作業を終えるも昇降設備を使用せずに脱着式コンテナ上部の縁から飛び降りて、両足の踵を負傷した。	34	1	416	1～9
34	2015	10	3～4	出航作業時、岸壁から船へ飛び降りた際、右足かかとを骨折した。	44	3	239	1～9

44	2015	2	18～ 19	屋外保管の梱包済木箱（高さ276cm）に掛けられたシートを手直し中、バランスを崩し木箱の間に滑り落ちた。	48	1	611	10～ 29
45	2015	2	9～ 10	4名でクレーン機材の移動作業を行っていた。クレーンブーム用ガイドローラを2名でもったところ、すぐ下のガイドローラに引っかかり、被災者の足に落下した。	48	4	529	100～ 299
46	2015	1	10～ 11	コンテナの揚げ積み作業を行っていた。当該負傷者は本船上にてフラットラックコンテナのスタンを立てていた。ハッチ蓋の左舷側に4本1セットの状態で積まれていたフラットラックコンテナ中央部から後向きで降りたところ足もとが滑り、バランスを崩し約2m下の通路へ墜落した際首と腕を負傷した。	57	1	391	100～ 299
47	2015	1	11～ 12	倉庫にてゴミ袋のデバン作業を同僚作業員と行っていた。20フィートコンテナ中程で、左側で作業を行っていた被災者が、下段の貨物をハイに取り次の貨物に移ろうとした時、向かって3列目上段貨物が荷崩れを起こした。後ろへ避けようとした際にバランスを崩し、右後方へ尻餅をつくような体勢でコンテナ床面に腰を強打し、腰椎圧迫骨折を負う。	56	4	611	10～ 29
48	2014	11	15～ 16	塩ビ解袋作業場にて1tフレコンをローリー車上部投入口から充填作業をしていた時に、作業場架台からローリー車上部へ移った時に、その上部にて足を滑らせてしまいその際にローリー車タンク上部ステップの隙間に足が挟まってしまい骨折した。	25	2	416	100～ 299
49	2014	11	8～9	本社道具場において道具整理の為、3段ある棚の最上段（地上高約2m）よりワイヤーを地上から引っ張り下ろした際に、ワイヤーの隣にあった10tシャックル（重量7.5kg）に引っ掛かり落下してきた為、避けたが間に合わず当該シャックルが右背中にあたり負傷した。	46	4	521	50～ 99
				融雪剤荷役中、フォークリフトへのフレコンバック取付作業				

50	2014	11	13～ 14	中に綱がはずれてしまい、被災者は再取り付けしようとした。フォークマンはロープがはずれたのを確認し、取り付けしやすいようにバックしたところ、被災者はまだロープを持っており、そのロープに親指がはさまれた。	60	7	379	10～ 29
51	2014	11	18～ 19	コークス運搬船の荷役終了後、船内ショベルを岸壁より当社重機倉庫へ回送中、船舶係留ビットに衝突しその衝撃で左骨をハンドルに強打した。事故発生時周囲が暗く、進行方向の障害物を見落としたことが原因と思われる。	50	3	225	100～ 299
52	2014	10	15～ 16	倉庫前でデバン準備のためフォークリフトにて空パレットを取りに行く際、2m弱前進し旋回を開始した時に、バランスを崩し運転席から転落し、フォークリフト左後輪に左足を轢かれた。	21	1	222	100～ 299
53	2014	8	11～ 12	内航船の船内から陸上に上がる際に、船内から船上に繋がっている階段が船積み木材製品により塞がっていたため、クレーンの天秤フックに手を掛け上がり洗浄に降りるときにバランスを崩し落下する。落下の際は一度2段目の木材製品に足が当たり、その下の1段目の木材製品の上に左上腕部を打ちつけ被災する。	19	1	211	100～ 299
54	2014	8	10～ 11	トラックに合板を積み、荷締め機で固定する際、完全に固定されるように体重を後方に強くかけた時、荷締め機がトレーラーのフックから外れそのまま落下。左半身を強打した。	51	1	221	10～ 29
55	2014	7	6～7	埠頭岸壁に接岸中のチップ船にて、船倉からデッキに出た後デッキサイドの通路に向かおうと本船のパイプを跨いだ際、路面が雨で濡れており足を滑らせ、腰を痛めた。	25	19	921	50～ 99
56	2014	5	6～7	4.5tフォークリフトで船から岸壁に荷揚げされた飼料袋をバック走行で運んでいた際、近くで玉掛け作業をしていた別の作業者に気付かず、後輪で右足を巻き込み、負傷させた。	56	7	222	10～ 29
				台船に橋桁40本の積込み作業中、クレーンで吊り上げた橋桁				

57	2014	5	17～ 18	を降ろすタイミングを図っていた際、左手を橋桁と下に敷かれた鋼材の間に挟み、負傷した。	66	7	211	1～9
58	2014	3	14～ 15	トレーラーに鉄板を積込中、不注意（よそ見）で鉄板を持っていた左手をトラックのスタンションにぶつけてしまった。	46	3	221	10～ 29
59	2014	3	11～ 12	流通センターにて貨物点検のため、事務所より貨物蔵置場所に移動中、仮置きしてあった貨物に足を引っ掛け転倒し、左肩を負傷した。	60	2	611	10000 ～
60	2014	2	16～ 17	フレコンの船積み作業中、被災者はトラック上での待機を終えて高さ1.2mの足場に移動する際、足場で足を滑らせバランスを崩し岸壁に転落した時、右手を骨折した。	47	1	416	50～ 99
61	2014	1	8～9	A倉庫とB倉庫の間の通路において、移動式の立入禁止の看板（夜間通行止めの為）と通路の端にあるポールとの間に張ってあるロープを外しに行った際、足下のアスファルトの窪みに足をとられ、右肩より倒れ落ち負傷した。帰宅後痛みが引かない為、病院を受診。	59	2	417	30～ 49
62	2014	1	10～ 11	輸出口ール紙のコンテナ詰め作業をしていた際に、ロール紙に足を挟みこまれ右足首を負傷、右足くるぶし紛糾骨折となる。	40	7	611	-
63	2014	1	6～7	工場内で前日の荷役終了後、強風にて曳航できず船内宿泊した翌日、エンジン始動後曳航する舢の様子を確認するため船の上に出て4～5mの高さの舢を見上げた後、激しいめまいで立ち上がれず、なんとか携帯電話を取りに階段を降りた時に転んで頭を打ったようで朦朧とする中、舢の船長に連絡。しばらくこちらかの連絡がなかったので、舢の船長が様子を見にきたところ、船室に倒れており救急車で搬送された。一時的なめまいと診断されたが、その後翌日の午後にめまいと左半身にしびれを覚え救急車を要請し救急搬送され、後に左小	58	90	921	1～9

				脳梗塞、左後舌小脳動脈閉塞との診断。				
64	2014	1	12～ 13	はしけ溜まりにて、船長が船の雨水排水作業を終えて、荷間から梯子を使って船上まで登っているとき、梯子がずれて足を滑らせ、そのまま梯子ごと荷間に転落し負傷した。	30	1	371	10～ 29
65	2013	11	16～ 17	作業道具を持って歩いた際、躓きバランスを崩し、事務所入口のドア枠部に胸上部を強打した。	29	3	418	1～9
66	2013	10	7～8	岸壁にて、船ウインチのカーゴフックに単東グラブバケットを装備する際、単東グラブバケット上で船カーゴフックの巻き下げの合図を出したところ、巻き下げ速度が早く、単東グラブバケット上に置いてあった支持ハンガーに接触し、弾みで支持ハンガーがずれ、手に当たった。	28	4	212	50～ 99
67	2013	9	13～ 14	倉庫屋外の階段を降りる際、階段を踏み外し、踵を負傷した。	37	6	413	10～ 29
68	2013	9	10～ 11	倉庫屋上の排気ダクト開閉装置よりエアが漏れていた為、ダクトに上がり、(高さ2m)カバーを外し、確認したところ、エアホースが外れ、ホースを避けようと飛び降り、負傷した。	63	1	391	10～ 29
69	2013	8	1～2	コンテナ船に積まれたコンテナの上を歩いた際、足を踏み出し、2段下に積まれたコンテナ天井に転落した。	27	1	611	100～ 299
70	2013	8	10～ 11	スクラップ積船の沿岸作業中、スクラップ(鉄屑)入れボックスより地面に落ちた鉄片(長さ60cm凹型)を3名で持ち、被災者が中央部を持ちながらボックスへ載せた際、手人差し指を鉄片の突起物に引っ掛け、負傷した。	33	8	521	50～ 99
71	2013	6	11～ 12	木箱をリストで持ち上げ、釘打ち機使用者の補助作業を行っていた際、釘打ち機使用者がバランスを崩し、隣にいた被災者の腕に当たり、釘打ち機を誤射し、被災者が負傷した。	58	8	169	50～ 99
72	2013	6	9～ 10	トラックに積載した廃材を下ろす為、トラック後部の扉を開けた際、積んでいた枕木が落下し、足甲に当たった。	34	4	522	50～ 99

73	2013	5	16~ 17	積み込み作業終了後、ウイング扉を閉めトラクタの作業台上り連結ケーブルを取り外し、作業台より降りるためサイドバンパーへ足を掛けようとした際、ズボンの裾がバッテリーを止めている止め金に引っ掛かり、前のめりで約90cm下の路面に転落。肘より着地し、肘を骨折した。	36	1	221	30~ 49
74	2013	5	8~9	詰所にて、段差に躓き、転倒。膝を床に打ちつけた。	47	2	417	30~ 49
75	2013	3	9~ 10	鋼管荷役中、荷役開始後2回目に鋼管（径150mm×長さ500×6本/1束）を3束玉掛し、巻き上げようとした際、足場にしていた鋼管の束が動いたため、足先が滑り、鋼管の束と束の間に入り、はさまれた。	50	7	521	100~ 299
76	2013	3	11~ 12	トラックの荷台上にて、パレット積み積荷をロープで固定作業中、ロープを引掛ける為、あおりを外したところ、落下した。	43	1	221	30~ 49
77	2013	3	8~9	沿岸ヤードで荷移し作業中、凍結した路面により滑り、転倒。持っていたスコップが体の下に入り、柄で背中を打った。	35	2	719	30~ 49
78	2013	2	14~ 15	バンニング終了後、扉が閉まらない為、フォークリフトで少し持ち上げ、左扉を閉め終え、右扉側の貨物を抑え、一旦降ろす際、足先端を挟んだ。	55	7	222	100~ 299
79	2013	2	17~ 18	ビレットの搬入作業中、リフトのフォークが台木の角に当たった際、台木をずらそうとしていた被災者の手に当たった為、台木とビレットの間に手親指を挟まれた。	42	3	222	30~ 49
80	2013	1	14~ 15	岸壁に接岸中の本船船内にて、被災者は貨物にワイヤーをかける作業に従事していた（玉掛け作業）。貨物を吊り上げる前のワイヤー張りを行う際、ワイヤーがしっかりとかかっていなかったため、足でワイヤーを戻そうとしたところ、ワイヤーとコンパネの間に足がはさまれた。	49	7	372	10~ 29

81	2012	12	8~9	トレーラーにコイルを荷卸し後、ナイロンスリングを抜く為、巻き上げ中、オーライロープとコイル外径端部に引っ掛かった為、咄嗟に手を出し、オーライロープにコイルの間に手を挟み、負傷した。	47	7	211	100~ 299
82	2012	12	11~ 12	当日朝より、ワイヤロッドのバンニング作業後、乾燥材を投入していたところ、コンテナの入り口にて、足を踏み外し、ワイヤロッド上から落下し、腰を強打した。	67	1	611	50~ 99
83	2012	11	13~ 14	屋内の貨物のチェックを行い、事務所から倉庫へ戻る際、扉の段差に躓き、前屈みに倒れ、横にあったパレットの端に手の親指と人指し指を強打し、負傷した。	51	2	417	10~ 29
84	2012	11	9~ 10	庫内にて、使用済み空フレコンバッグの紐を締める作業を行っていたところ、積み重ねていた空フレコンバッグを引き抜こうとした際、後方に転倒し、手を着き、負傷した。	58	2	611	30~ 49
85	2012	9	14~ 15	トラック荷台上で鉄板を荷締中、荷締機が外れ荷台上より落下し、脇腹を打撲した。	59	1	221	1~9
86	2012	9	8~9	石炭の除去準備作業中、運転していた重機から降車し、通路上にあった放水ホースを移動させようとホースを持ち上げた際、腰から足つま先にかけて椎間板ヘルニアを受症した。	42	19	921	100~ 299
87	2012	8	10~ 11	作業場にて、鉄板をトラックに積込み中、荷揚用の鉄製ハツカが足に当たり、負傷した。	29	6	372	10~ 29
88	2012	8	14~ 15	陸上と船首のロープを取付ける作業をしていた際、ロープとピットの間に足が挟まった。	72	7	239	1~9
89	2012	7	11~ 12	倉庫にて、柑橘の出庫作業中、パレットに移しかえた際、縛っていた紐に足が引っ掛かり、足首を捻り、品物を持ったまま転倒し、足首を負傷した。	28	2	921	10~ 29
90	2012	7	9~	舳艫内にて、荷降ろし作業を監督指導の為、立ち合った際、舳艫の揺れで吊下げた重量物が動き、抑えながら降下させたと	41	7	611	100~

			10	ころ、つま先を挟んだ。				299
91	2012	6	13～ 14	トラックの荷台より木枠の貨物を下ろす作業中、足を踏み外しバランスを崩し、トラックの荷台より落下した。その際、肘から手首にかけて地面についたため負傷した。	54	1	221	1～9
92	2012	5	13～ 14	バイクで作業場所へ交替に向かった際、突然ブレーキがロックし、前方へ投げ出され、脛骨を骨折した。	54	2	231	50～ 99
93	2012	5	16～ 17	交差点にて、信号待ちで停車中、後続車両に追突された。	44	17	231	10～ 29
94	2012	5	8～9	横持ち車両の運転席への移動中、仮置きのため、置いてあった鉄板の上を近道し、跨いだ際、先に出した足が滑り、後方に倒れこんだ際、胸後方を鉄板の角で痛打し、肋骨2本骨折、肺を切傷した。	52	2	417	10～ 29
95	2012	5	14～ 15	セメント（固化材）充填設備にて、フレコンに充填後、タンク内から外へトロッコで移動する為、ボタンを押し、トロッコが動き始めた際、タンク内に入ろうとしたところ、トロッコと扉との間に足が挟まれた。	61	7	223	50～ 99
96	2012	4	13～ 14	鉄筋棒を同僚にフォークリフトで右側を持ち上げ補助してもらい、自車と2台でバックして下ろしたが、両車の速度が合わず、トラックの荷台をかわした際、鉄筋棒がフォークリフトの爪先から外れそうになり、両車共に爪を下げたが、スピードが合わず、フォークが前のめりになり、浮き上がった後輪がその反動で強く地面を打ちつけ、席に腰掛けていた被災者が負傷した。	61	6	222	100～ 299
97	2012	4	21～ 22	コンテナ船にて、コンテナの揚げ荷中、最下段のコンテナを揚げた際、スプレッダーの位置を確認した際、スプレッダーが着床前に振れ始めた為、移動し、手を引っ張ろうとしたところ、力を入れようと足を入れ替えた際、梯子を設置してっ	29	1	414	100～ 299

				た切れ込みに足を踏み外し、転落した。				
98	2012	3	15～ 16	コンテナ本船荷役中に被災した。被災者は、船側作業員2名のうちの1人で、最初の1本で事故にあった。状況はSキャリアで横持した空コンテナの先端にて、荷役用のスプレッダー（鋼材のフレーム）をセット（ロック）して足場用コンテナに戻る際、スプレッダーを被強してある数本のアングルの手前のアングルに躓き、先のアングルで腹部を打撲した。	19	2	211	100～ 299
99	2012	3	17～ 18	A Bにてトランスの梱包・シート掛け作業中、端口に背を向けた状態で、後退したところ、足を踏み外し、腰部より転落した。	43	1	611	500～ 999
100	2012	3	7～8	船内降板甲板上からポンプ室内に降りる階段にて、下っている際、足を踏み外し、約1 m下に転落し、膝を床に強打した。	52	1	413	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。